

ネダフォーム® 性能3つの約束

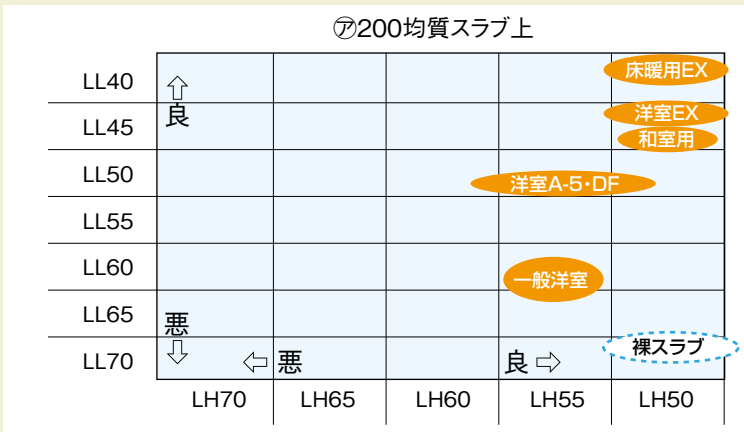
遮音床

床衝撃音遮断性能に
優れた仕上床下地なので



上階の“ドスン、パタパタ、ゴツゴツ”騒音が小さく!

図1.ネダフォーム®下地床の床衝撃音遮断性能の等級マップ(特認データより、当社推定)



LH 測定用
バンクマシン



LL 測定用タッピングマシン

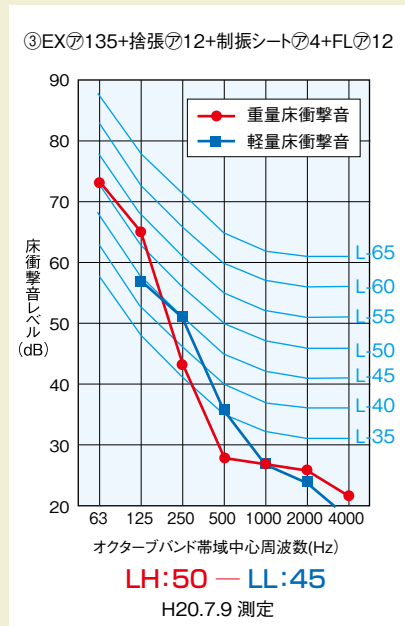
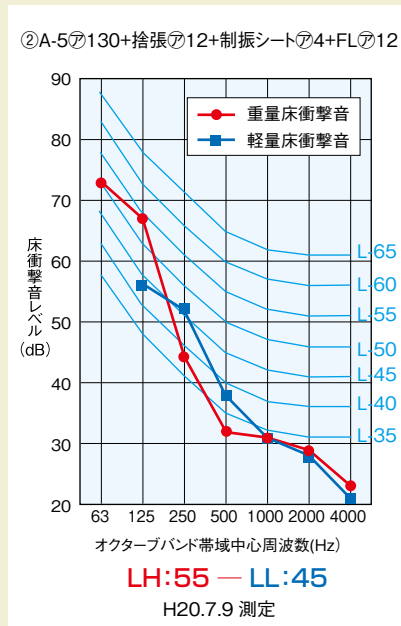
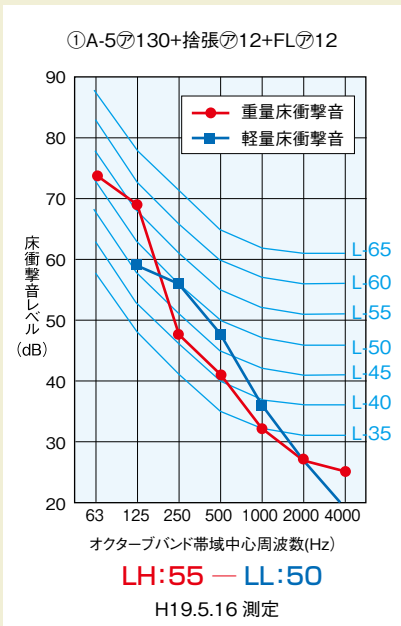
*これらは、推定値であり、性能を保証するものではありません。

出典データ: ①仕上りのレベル低減量データは、当社申請による特認試験・報告値のみを用いた。

②裸スラブ・データは、公表済みの「日本建築総合試験所に抛る統計処理データ」のみを用いた。

図2.ネダフォーム®下地床の床衝撃音等級・実測データ例

某民間マンション現場の実測データ3例: 全て、㊦280ボイドスラブ仕様、仕上げ:FL;普通フローリング



*これらは、実測値であり、性能を保証するものではありません。

▶当社では、性能保証の観点から、ネダフォーム®敷設現場の床衝撃音の有償実測サービスを行なうことがあります。

国の厳しい遮音基準に合格した床!

品確法・性能表示「音環境」の
大臣認定書を取得

下表は、ネダフォーム®関連の
国交省大臣認定書(品確法・住宅性能表示「音環境/床衝撃音対策」の
特別評価方法認定=略して"特認")取得リストの一部

床高	ネダフォーム®	住宅性能表示制度・音環境評価	
		重量床衝撃音性能	軽量床衝撃音性能
100~130	和室(40, 50)	ΔL=0dB特認:348号	床仕上げ構造区分「4」特認:349号
	LDK455(65, 80, 95)	ΔL=0dB特認:1126号	—
120~180	LDK455(110, 130, 150)	ΔL=0dB特認:1241号	—
130~180	和室(65, 80, 95)	ΔL=-1dB特認:423号	床仕上げ構造区分「4」特認:424号



公営住宅の音・性能表示にピッタリ! ネダフォーム®のΔL=0dB特認シリーズ

相当スラブ厚表示:150mmの場合

ΔLH特認区分[dB]	打設すべきスラブ厚 (mm)	適合するネダフォーム厚と仕上げ床材
ΔL=0 (この場合+1も含む)	150mm	和室用:φ40,50+量φ55 SP:φ65,80,95+FL* LDK:≧φ120+FL*
ΔL=-1	160mm	
ΔL=-2	170mm	
ΔL=-3	180mm	
ΔL=-4	190mm	
ΔL=-5	210mm	特認を取得していない仕上げ構造床全て

*FL:φ12普通フローリング仕上

その他

※ネダフォーム®床は、空気音(話声やテレビ音声など)の高音域での遮断効果が大きい事が測定データで判っています。これらの特性を活かし、壁・天井用の特殊EPS断熱材等と併せた断熱内装システムとして、その高いレベルの空気伝播音遮断特性をフル活用する実用化研究を続けています。

▶本件に関する詳しいお問合せは、当社まで。

JSP 株式会社JSPグループ
油化三昌建材株式会社

<http://www.yukasansho.com/>

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2
新日石ビル5F

TEL.03-6212-6395 FAX.03-6212-6398

西日本営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32号
(第2新大阪ビル503号室)

TEL.06(6838)3447 FAX.06(6838)3448

お問い合わせ先